

研究推進 設計図

単元名・実践名 3年

授業 ( )  
学力・生活部会  
その他(基礎学習)

# 文作りをしよう

①教育計画・NIE 推進計画

子どもの姿  
(総括反省等より)

②校内研修・中間交流

中間ふり返り  
改善

③NIE 実践報告

成果・課題  
(次年度に向けて)

## 子どもの姿

○社会的事象への興味・関心がある児童が多い。 ○書く量は増えてきている。○読む速さに個人差はあるが、スラスラ読める児童が多い。  
△語彙量が少なく、普段使用しない熟語に対して理解が難しい児童がいる。△適切な助詞が使えない児童が数名いる。

## 何を(書かせ・考えさせたい)

- ・新聞記事の中から、文作りに使えそうな言葉を見つけることができる。
- ・見つけた言葉を使って、短い文を作る。

## 学習の流れ

- ①1分間で記事を読む。
- ②5分間で新聞記事の中にある言葉を使って文作りをする。
- ③班で書いた文を発表し合う。

## 場(いつ・どこで)

- ・基礎学習(10分間)

## 方法・支援(どのように)

- ・書くことに抵抗がある児童がいるため、どのような言葉を選ぶとよいか、選択肢を与えるなどして支援する。
- ・文作りが得意な児童には、新聞記事の中から選んだ言葉を、一文の中で複数個使って文作りをするように指導する。
- ・適切な文章や、おもしろい文章が書けている児童に、机間巡視の時に褒める。(時間があれば全体で紹介する)

## ふりかえり(子どもの姿で・いつ)

- ・継続して行うことで、作文力の向上をはかる。(書いた文の数・一文の中で使用した言葉の数が最初より増えているか)
- ・国語など、他教科での書く活動への意欲が高まっているか。

## 改善点

## 研究推進 設計図

授業 ( 理科 )  
学力・生活部会  
その他 ( )

単元名・実践名 6年

大地のつくり

～自然が教えてくれること～

①教育計画・NIE推進計画

子どもの姿  
(総括反省等より)

② 校内研修・中間交流

中間振り返り  
改善

③NIE実践報告

成果・課題  
(次年度に向けて)

## 子どもの姿

○新聞 (NIE) の学習に継続的に取り組んでおり、新聞記事から情報を得ることに慣れている児童が多い。

○学習課題に対して、自分の考えを持つことができる児童が多い。

▲自分の考えを持つことはできるが、全体場で発表することに自信がない児童が多い (グループ学習で話し合う際には考えを出すことができる)。

## 何を(書かせ・考えさせたい)

- ・「秋告げる動植物は?」「年代を知るものさし年縞」の記事から、分かることを書かせる。
- ・自然が教えてくれることのすばらしさを書かせる。

## 場(いつ・どこで)

- ・新聞記事を読んだ後で
- ・ふりかえりを書くときに

## 学習の流れ

- 1 「彼岸花」の話や「秋告げる動植物は?」の記事から、自然の動植物により、いろいろな情報を得ることができることを知る。
- 2 木の年輪から、どんなことが分かるかを考える。
- 3 「年代を知るものさし年縞」の記事から、どんなことが分かるかを考える。
- 4 ふりかえりを書く。

## 方法(新聞含む)・支援(どのように)

- ①県内の身近な新聞記事を使う。
- ②「動植物→木の年輪→水月湖の年縞」と、身近なところから世界へと、短いスパンから長いスパンの話へと広げていく。
- ③木の年輪については、既習の知識がない児童が多い場合、年輪のでき方などについてふれる(実物を用意する)。水月湖の年縞については、若狭三方縄文博物館を見学した際に簡単に学習している。細かなメカニズムよりも新聞記事の見出しやリード文にも目を向けて考えさせる。
- ④「子どもの姿」にも書いたが、全体での発表の前に、できるだけグループ学習を入れる(但し、自分の考えを書いた後の全体発表の場も設ける)。

## ふりかえり(子どもの姿で・いつ)

- ・新聞記事から必要な情報を読み取ることができていたか。
- ・ふりかえりを書く際に、自分の考えを書くことができていたか。

## 改善点